

「健やか親子21（第2次）」の中間評価に向けた目標を掲げた指標に関する調査研究の進捗報告

研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

研究代表者 山縣 然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

平成27年度より開始された「健やか親子21（第2次）」は、平成31年度に中間評価が実施される予定である。中間評価にあたっては、市区町村が日常の母子保健業務で収集している乳幼児健康診査（以下、乳幼児健診）における必須問診項目（15項目）の集計値が用いられることになっている。しかしながら、集計値のみの報告では、各指標や指標に関連する要因の詳細な分析は不可能である。そこで、必須問診項目の個別データを厚生労働省子ども家庭局母子保健課が全国の協力可能な自治体から収集し、本研究班で指標および関連要因を含んだ詳細な分析を行うこととした。

平成30年2月上旬までの期間に全国294市区町村からデータの提供があった。平成30年3月末現在、データ提供された市区町村のデータを各々確認中であり、今後は全国版のデータセットを作成し、全国集計を実施し中間評価に向けての基礎資料とする。また、データ提供いただいた市区町村へは個別の分析を行い、結果を還元していく予定である。

A. 研究目的

平成27年度より開始された「健やか親子21（第2次）」は、平成31年度に中間評価が実施される予定である。中間評価にあたっては、市区町村が日常の母子保健業務で収集している乳幼児健康診査（以下、乳幼児健診）における必須問診項目（15項目）の集計値が用いられることになっている。しかしながら、集計値のみの報告では、各指標や指標に関連する要因の詳細な分析は不可能である。

そこで、必須問診項目の個別データを厚生労働省子ども家庭局母子保健課が全国の協力可能な自治体から収集し、本研究班で指標および関連要因を含んだ詳細な分析を行うこととした。

B. 研究方法

1. データの提供に関する情報の周知

平成29年12月21日付で、厚生労働省子ども

家庭局母子保健課より、全国の都道府県、保健所設置市、特別区の母子保健担当部（局）宛に、事務連絡「「健やか親子21（第2次）」の中間評価に向けた目標を掲げた指標に関する調査協力について（依頼）」が発出された。本事務連絡の別紙として、本研究班からの案内も添付され、周知された（資料1）。

2. 収集データ項目

データの提供にあたっては、乳幼児健診情報システムを使用して集計していること、または同システムに出力して集計できる状態にあることを条件とした。

1) 必須問診項目（15項目）

乳幼児健診情報システムで作成された、「報告用エクセルファイル」（個人データが削除されたファイル）を厚生労働省子ども家庭局母子保健課に提供いただく。

2) 任意情報

必須問診項目（15 項目）に加え、出生順位、在胎週数、出生体重、父親の年齢についての情報も任意でご提供いただくこととした。

3. データの提供方法

乳幼児健診情報システムで作成した、「報告用エクセルを、平成 30 年 1 月 19 日までに申出書とともに厚生労働省子ども家庭局母子保健課へご提供いただいた。その後、厚生労働省子ども家庭局母子保健課よりデータを入手した。

（倫理面への配慮）

厚生労働省子ども家庭局母子保健課が収集した個人情報がないデータの分析である。山梨大学医学部倫理委員会の承認を得ている。

C. 研究結果

データ提供締め切りは平成 30 年 1 月 19 日であったが、最終的には 2 月上旬頃までとなった。必須問診項目（15 項目）のデータ提供があった市区町村数は全国で 294 箇所であった。

データ集計の進捗状況は、平成 30 年 3 月末現在、各市区町村のデータを個別に確認しているところである。今後の予定としては全国のデータセットを作成し、全国集計を行い、中間評価に向けての基礎資料とする。また、データを提供いただいた市区町村各々のデータ分析を実施する。さらにその結果を各市区町村へ還元する段取りを予定している。

D. 結論

全国から 294 市区町村のデータが提供された。まだ詳細な分析はできていないが、今後「健やか親子 21（第 2 次）」の中間評価に向けて指標間の関連や詳細な分析を実施していく。また、データを提供いただいた市区町村には、各

市区町村にとって有益な情報提供となるような分析を行い、還元していきたい。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

事務連絡

平成 29 年 12 月 21 日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 母子保健担当部（局）御中

厚生労働省子ども家庭局母子保健課

「健やか親子 2 1（第 2 次）」の中間評価に向けた
目標を掲げた指標に関する調査協力について（依頼）

母子保健行政及び「健やか親子 2 1（第 2 次）」の推進につきましては、かねてより格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 31 年度に「健やか親子 2 1（第 2 次）」の中間評価を実施する予定です。中間評価に当たっては、市町村が毎年度調査として実施している、乳幼児健康診査における必須問診項目（15 指標）の集計結果を用いることとしています。この集計結果について、毎年度市町村から都道府県を介して当課に報告されていますが、都道府県単位の集計値となっており、この集計値のみでは各指標及び関連要因も含めた詳細な分析ができないという課題があります。

そこで、別紙のとおり厚生労働科学研究（平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金「母子の健康改善のための母子保健情報利活用に関する研究」研究代表者 山縣 然太郎）において、指標及び関連要因も含めた詳細な分析を行い、中間評価の目標達成に向けた施策の見直し及び検討を行うために、従来集計データに属性等を加えた個票のデータを収集、分析することとしました。

については、各都道府県におかれましては、本事務連絡の内容についてご了知のうえ、別紙のデータ提供及び研修会について管内市区町村へ周知していただくとともに、御協力いただけるよう御配慮いただきますようお願いいたします。

なお、各都道府県におかれましては、データの取りまとめの必要はございませんので申し添えます。

【問い合わせ先】

厚生労働省子ども家庭局母子保健課
齋藤、中島

T E L : 03-5253-1111

(内線4981、4982)

F A X : 03-3595-2680

乳幼児健診情報システムで収集したデータ提供依頼及び研修会のお知らせ

「健やか親子21（第2次）」の中間評価に向けて、当研究班で作成した乳幼児健診情報システムを用いて「健やか親子21（第2次）」の指標及び関連要因も含めた詳細な分析を行います。そこで、下記の条件に当てはまる市町村におかれてはデータの提供をお願いします。

ご提供いただいた自治体には、それぞれの自治体単位でのデータを解析した上で、母子保健施策に活用できる分析結果をお返しします。

また、母子保健事業推進のための情報利活用に資する研修会を開催します。研修会では、だれでもできるクロス集計（ピポットテーブル）の方法とその解釈の仕方を演習します。この集計手法は、今後、各自治体で活用できるものですので、積極的にご参加ください。

なお、研修会の参加については、都道府県からご参加いただけますが、データをご提供いただいた自治体を優先しますことを申し添えます。

記

1. 乳幼児健診情報システムで収集したデータの提供について

(1) ご提供にあたっての条件

乳幼児健診情報システムを使用して集計していること又は同システムに出力して集計できること。

(2) ご提供いただきたい情報

1) 必須情報

都道府県への報告時に使用した「報告用エクセルファイル※」

※乳幼児健診情報システムで、都道府県に報告する際に操作画面の赤いボタンから作成する、個人情報削除したファイルのこと。

2) 任意情報（下記に示す任意情報が多いほど、詳細な分析が可能となります。）

乳幼児健診情報システムで収集しているデータに加えて、以下の項目のうち可能な項目。

●出生順位 ●在胎週数 ●出生体重 ●父親の年齢

※乳幼児健診情報システム（報告用エクセルファイル）のシートの保護を解除し、最後の行にご提供可能な項目のデータを加えてお送り下さい。

〈シート保護の解除方法〉

「校閲」→「シート保護の解除」

(3) データ提供方法

乳幼児健診情報システムで入力した「報告用エクセルファイル」を平成 30 年 1 月 19 日までに以下のメールアドレス宛てにお送り下さい。提出の際、別添の申出書も併せて提出してください。

データ提出先：sukoyaka21@mhlw.go.jp

2. 研修会について

(1) 会場及び日程：東京、沖縄で3月に開催を予定

※申し込み方法も含め、詳細は、別途お知らせします。

(2) 対象者：母子保健事業に携わる保健師、栄養士、事務職等、関連職種

※データを提供して下さった自治体を優先させていただきます。

(3) 研修会テーマ：

「エクセルでできる！乳幼児健診情報の利活用方法 ～データはいっぱいあるけど何を何にどう使ったらいいのか分からない！そんなあなたに伝授します！埋もれているデータの利活用実践方法と健康施策に活かす秘訣！～」

(4) 内容：

10：00～11：00 講義：個人データを利活用することのメリットとその意義

11：00～12：00 演習：記述統計。～なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？～

12：00～13：00 昼休憩

13：00～16：00 (途中休憩含む)

演習：クロス集計と関連から解釈検討。～自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！～

(5) 持ち物：

・PC (excel：office2010 以上が搭載されているもの)

・各自治体の乳幼児健診情報システムデータ (報告用エクセルファイル)

※ご持参が難しい場合はこちらでダミーのデータをご用意いたします。

・昼食

【問い合わせ先】

山梨大学大学院総合研究部医学域

基礎医学系社会医学講座

担当：秋山

TEL：055-273-9566

E-mail：boshidat@yamanashi.ac.jp

(別添)

乳幼児健診情報システムで収集したデータ提供

申出書

自治体名	
市町村番号 (総務省地方公共団体 コード、5桁)	
部局名	
担当者氏名	
勤務先住所	
電話番号	
e-mail	